第8講　【中世編】　中世ヨーロッパ世界の変容

# PART6 中世ヨーロッパの文化

## Chapter 1　中世キリスト教神学とスコラ学の発展

目標　スコラ学が発展した背景を理解しよう。
普遍論争が収束し，スコラ学が大成した経緯を学ぼう。

### 1　スコラ学の発展

中世の西ヨーロッパではローマ＝カトリック教会が絶大な権威を持ち，学問もキリスト教の影響を受けた。

①中世の学問

A　キリスト教の教理や信仰を探究する〔　　　　　〕が，最高の学問とされる

※「哲学は神学の婢（はしため)」と言われたように，哲学はその下に置かれた。

B　教会用語の〔　　　　　　　　　〕が，学者・知識人の共通語となる

C　教会附属の学校（**スコラ**）を拠点として，神学をアリストテレス哲学によって体系化しようとする〔　　　　　　　　　〕がおこる

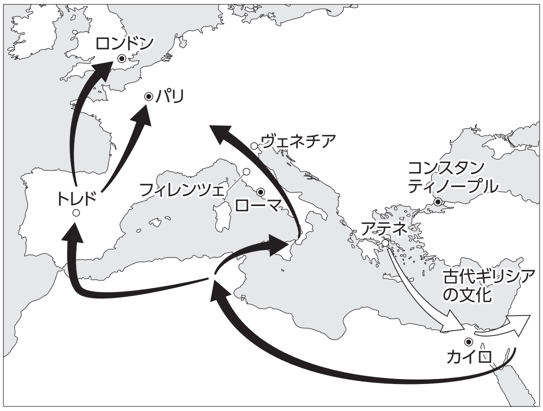
スコラ学の授業風景

②文化の復興運動

12世紀，イスラーム圏で研究されていたギリシアやローマの古典が，イベリア半島の**トレド**，シチリア島の**パレルモ**などを経由して伝えられ，〔　　　　　　　　　〕に翻訳されて学問や文化が発展した。これを〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕と呼ぶ

→スコラ学に影響

※トレドやシチリアでは，特に**アリストテレス**などギリシアの古典や，アラビアの学術書がラテン語に翻訳された。




12 世紀ルネサンスの流れ

## 2 普遍論争

①〔　　　　　　　　〕の勃発

A 〔　　　　　　〕

普遍は現実に存在するとして，信仰は理性に優先すると主張。スコラ学の父とされる〔　　　　　　　　　　　〕が代表的論者

B 〔　　　　　　〕

普遍は思考の中にしか存在しないとして，信仰よりも理性が優先すると主張。フランスのスコラ学者〔　　　　　　　　　〕が代表的論者

※のちに，イギリスのスコラ学者**ウィリアム＝オブ＝オッカム**が信仰と理性を分離。

②スコラ学の大成

13 世紀半ば，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が〔　　　　　　　　　　　〕を著して信仰と理性を統一。キリスト教神学にアリストテレスの哲学を調和する。普遍論争が収束してスコラ学が大成した

③自然科学の発達

イギリスのスコラ学者〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が，イスラーム科学の影響を受けて観察と実験を重視

→ 17 世紀の科学革命に影響を及ぼす

まとめ

十字軍や東方貿易でイスラーム世界から文化や思想が流入し，スコラ学が発展した。

トマス＝アクィナスが『神学大全』を著し，キリスト教神学にアリストテレスの哲学を調和して，普遍論争が収束しスコラ学が大成した。

# Chapter２　中世ヨーロッパの文化史

目標
中世ヨーロッパの大学は，どのように成立していったのだろう。
中世の文学の基調精神を理解しよう。

## 1　中世ヨーロッパの大学

各大学が位置する場所

①大学の形成

A　教会や修道院の付属学校だった大学が，都市の発達や 12 世紀ルネサンスの影響のもと，専門性の高い研究機関に発展

B　主な大学には**神学・法学・医学**の３学部があり，基礎的な教養科目として**自由七科**も学ばれた

※教養科目は，文法・修辞学・論理学の初級３学科と，算術，幾何学，天文学，音楽の上級４学科を指す。

②中世に設立された主な大学

A　〔　　　　　　　　　　〕（法学）：11 世紀後半に北イタリアのボローニャに設立された，現存する最古の大学

B　〔　　　　　　　〕（神学）：12 世紀に設立されたフランス最古の大学。トマス＝アクィナスが教鞭をとった

C　〔　　　　　　　　　〕（医学）：イタリアのサレルノに設立された最古の大学の一つ。医学校から発展

D　**オックスフォード大学**（神学）：12 世紀にパリ大学を模範として創設されたイギリス最古の大学

E　**ケンブリッジ大学**（神学）：オックスフォード大学から分離

※オックスフォード大学やケンブリッジ大学では，学寮（コレッジ）が発展。

## 2　中世ヨーロッパの文学

①〔　　　　　　　　　　〕

中世騎士の武勇や恋愛などを主題とした口語文学

A　『**アーサー王物語**』（英）：ケルト人の英雄アーサー王と円卓の騎士の物語

B　『**ニーベルンゲンの歌**』（独）：ゲルマンの英雄伝説をもとにした叙事詩

C　『**ローランの歌**』（仏）：カール大帝時代の騎士の武勇物語

吟遊詩人

②〔　　　　　　　　〕

西ヨーロッパ各地の宮廷を遍歴して，騎士の恋愛を題材とする抒情詩をうたった

※フランスでは**トゥルバドゥール**，ドイツでは**ミンネジンガー**と呼ばれた。

## 3　中世の建築

教会の権威が高まり，経済的に豊かになった中世には，教会建築が盛んに行われた。

① 11 世紀以降，ローマ風の半円アーチと厚い石壁，小さな窓を特色とする〔　　　　　　　　　　　　〕が流行

※イタリアの〔　　　　　　　　　　〕やドイツの**シュパイアー大聖堂**などが有名。

② 12 世紀半ば以降，高くそびえる尖塔と**ステンドグラス**の広い窓を特色とする〔　　　　　　　　　　〕の大聖堂がつくられる

※フランスの**ノートルダム大聖堂**や**シャルトル大聖堂**，フランス王の戴冠式が行われた**ランス大聖堂**，ドイツの〔　　　　　　　　　　　　〕などが有名。

まとめ

学問を修めたい若者が都市に集まると，ボローニャに初めて大学が設立され，法学が学ばれた。

中世の文学は，騎士道精神に則るものだった。

# 第 8 講　PART6　確認問題

**1** 中世の西ヨーロッパで，最高の学問とされたものはどれか。

① 哲学　② 神学
③ 医学　④ 幾何学

**2** 中世の西ヨーロッパで，学者・知識人の共通語とされた言語はどれか。

① ギリシア語　② イタリア語
③ フランス語　④ ラテン語

**3** 13 世紀にスコラ学を大成したトマス = アクィナスの著書はどれか。

① 『神曲』　② 『君主論』
③ 『神学大全』　④ 『神の国』

**4** スコラ学の学者でありながら，イスラーム科学の影響を受けて実験や観察の重要性を説いた人物はだれか。

① ロジャー = ベーコン　② ウィリアム = オブ = オッカム
③ フランシス = ベーコン　④ アイザック = ニュートン

**5** 法学で有名だった，現存する最古の大学はどこか。

① サレルノ大学　② オックスフォード大学
③ ボローニャ大学　④ パリ大学

**6** 騎士道文学の作品はどれか。

① 『ドン＝キホーテ』　② 『アーサー王物語』
③ 『カンタベリ物語』　④ 『千夜一夜物語』

**7** 11 世紀以降に流行した，ローマ風の半円アーチと厚い石壁などを特色とする建築様式を何というか。

① ビザンツ様式　② ルネサンス様式
③ バロック様式　④ ロマネスク様式

**8** ゴシック様式の建築の説明として**誤っているもの**はどれか。

① 広い窓にステンドグラスが飾られる。
② 代表的な建築にノートルダム大聖堂がある。
③ ドームとモザイク壁画を特色とする。
④ 尖塔が高くそびえる。

# 第 8 講　PART6　確認問題 解答

**1** 解答：②　中世の西ヨーロッパでは，キリスト教を研究する**神学**が最も重視された。

**2** 解答：④　**ラテン語**が学者や知識人の共通語として用いられ，アラビア語やギリシア語の文献がラテン語に翻訳された。

**3** 解答：③　トマス＝アクィナスは，『**神学大全**』で神学を体系化した。アウグスティヌスの『神の国』，カルヴァンの『キリスト教綱要』と合わせて「キリスト教三大古典」といわれる。

**4** 解答：①　**ロジャー＝ベーコン**は，17 世紀の科学革命に影響を与えた。フランシス＝ベーコンは 17 世紀のイギリスの哲学者である。

**5** 解答：③　**ボローニャ大学**は 11 世紀後半に設立された現存する最古の大学で，イタリア＝ルネサンスの詩人ダンテやペトラルカもここで教鞭をとった。

**6** 解答：②　中世には『**アーサー王物語**』や『ニーベルンゲンの歌』など, 騎士道をテーマとした口承文学がつくられ，吟遊詩人によって語り伝えられた。

**7** 解答：④　**ロマネスク様式**は 11 世紀頃から流行した建築様式で，ピサ大聖堂が有名。

**8** 解答：③　ドームとモザイク壁画を特色とするのは，**ビザンツ様式**の建築である。